

平成 24 年度獣医学術地区学会講演プログラム

平成 24 年度 小動物獣医学会 (北海道)

地区学会長： 滝口 満喜 (北海道大学)

1 日目 (9 月 6 日) 第 1 会場 (C1 号館 301)

9 : 30~10 : 10

座長：遠藤 能史 (酪農大)

小ー 1 好酸球増多症候群を伴った消化器型リンパ腫の猫の 1 例

○遠山 伸夫¹⁾ 細谷 謙次²⁾ 中村 健介¹⁾ 森下 啓太郎¹⁾

大田 寛³⁾ 山崎 真大³⁾ 滝口 満喜³⁾

(¹⁾ 北大動物病院 ²⁾ 北大獣医外科 ³⁾ 北大獣医内科)

小ー 2 フェレットの後腹膜奇形腫の 1 例

○大橋 英二¹⁾ 合山 尚志²⁾ 古林 与志安²⁾

(¹⁾ あかしや動物病院 ²⁾ 帯畜大基礎獣医)

小ー 3 心膜切除術を行った心嚢中皮腫の犬の 1 例

○高良 広之¹⁾ 田中 敏樹¹⁾ 磯村 洋²⁾

(¹⁾ アース動物病院 ²⁾ パソロジカルアシスト)

10 : 10~10 : 40

座長：細谷 謙次 (北大)

小ー 4 犬血管肉腫の診断における末梢血中 Big endothelin-1 (Big ET-1) の有用性

○吉田 智彦¹⁾ 福本 真也¹⁾ 華園 究¹⁾ 岩野 英知²⁾ 宮庄 拓³⁾

廉澤 剛⁴⁾ 打出 毅¹⁾

(¹⁾ 酪農大内科 ²⁾ 酪農大生化 ³⁾ 酪農大栄養生理

⁴⁾ 酪農大臨床腫瘍)

小ー 5 犬の膀胱移行上皮癌における p63 の発現解析

○西森 大洋¹⁾ 華園 究¹⁾ 福本 真也¹⁾ 河村 芳朗²⁾ 平山 和子²⁾

谷山 弘行²⁾ 廉澤 剛¹⁾ 打出 毅¹⁾

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農獣医大病理)

小ー 6 リン酸トセラニブを用いた肛門嚢腺癌の犬 7 例

○高麗 美紀¹⁾ 木村 貴光¹⁾ 平山 和子²⁾ 谷山 弘行²⁾ 遠藤 能史¹⁾

廉澤 剛¹⁾ (¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農大獣医病理)

10 : 40~11 : 20

座長：高木 哲 (北大)

小ー 7 犬乳腺腫瘍における L-type amino acid transporter1 (LAT1) に関する研究

○福本 真也¹⁾ 華園 究¹⁾ 石井 俊治²⁾ 大山 紀彦²⁾ 岩野 英知³⁾

廉澤 剛⁴⁾ 打出 毅¹⁾

(¹⁾ 酪農大内科 (²⁾ 酪農大動物病院 (³⁾ 酪農大獣医生化
⁴⁾ 酪農大臨床腫瘍)

小-8 イヌ乳腺腫瘍における腫瘍診断マーカーの検索

○岩野 英知¹⁾ 蛭澤 雅司¹⁾ 早苗 梓紗¹⁾ 遠藤 能史²⁾
平山 和子³⁾ 谷山 弘行³⁾ 廉澤 剛²⁾ 横田 博¹⁾

(¹⁾ 酪農大獣医生化 (²⁾ 酪農大臨床腫瘍 (³⁾ 酪農大獣医病理)

小-9 WHO のステージ分類に基づいた口腔内悪性黒色腫罹患犬 72 症例の回顧的研究

○渡部 あい¹⁾ 阿部 麻衣子¹⁾ 遠藤 能史¹⁾ 平山 和子²⁾
谷山 弘行²⁾ 廉澤 剛¹⁾ (¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大病理)

小-10 頸動脈小体腫瘍に罹患した犬の 3 症例

○木村 貴光¹⁾ 高麗 美紀¹⁾ 平山 和子²⁾ 谷山 弘行²⁾ 遠藤 能史¹⁾
廉澤 剛¹⁾ (¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大獣医病理)

11:20~12:00

座長: 大石 明広 (帯畜大)

小-11 肩甲骨全摘出術を実施した骨肉腫の大型犬の 1 例

○橋場 香野¹⁾ 細谷 謙次²⁾ 柘植 勇祐¹⁾ 松尾 熹道³⁾ 星野 有希²⁾
高木 哲²⁾ 奥村 正裕²⁾

(¹⁾ 北大動物病院 (²⁾ 北大獣医外科 (³⁾ 新ことに動物病院)

小-12 肩甲骨全切除術による患肢温存を選択した肩甲骨原発骨肉腫の犬の 1 例

○山下 時明¹⁾ 山下 律子¹⁾ 高麗 美紀²⁾ 廉澤 剛²⁾
(¹⁾ 真駒内どうぶつ病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-13 腫瘍性疾患により前肢跛行を呈した犬の回顧的研究

○金 尚昊¹⁾ 星野 有希²⁾ 細谷 謙次¹⁾ 高木 哲¹⁾ 奥村 正裕¹⁾
(¹⁾ 北大獣医外科 (²⁾ 北大動物病院)

1 日目 (9月6日) 第2会場 (C1 号館 302)

9:30~10:10

座長: 久保 明 (どうぶつ眼科 VECS)

小-30 非接触型マイボグラフィによる犬のマイボーム腺形態の加齢性変化

○北村 康也^{1, 2)} 前原 誠也²⁾ 齋藤 陽彦²⁾
(¹⁾ 八雲動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-31 白内障の自然吸収の経過観察を行った柴犬の 1 例

○大村 寛^{1, 2)} 河野 健太郎¹⁾ 竹内 良成¹⁾ 貞岡 恵子¹⁾
西川 ひろみ¹⁾ 前原 誠也²⁾ 齋藤 陽彦²⁾ 中川 光義¹⁾
(¹⁾ 中川動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-32 眼圧の日内変動と臨床症状を観察した柴犬の緑内障の 1 例

○掛端 健士^{1),2)} 池田 晴喜¹⁾

(¹⁾ かけはた動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

10:10~10:40

座長：五十嵐 治 (釧路動物病院)

小-33 長期間視覚が維持されたネコの悪性緑内障の1例

○佐藤 崇¹⁾ 前原 誠也²⁾ 伊藤 洋輔²⁾ 泉澤 康晴²⁾

(¹⁾ 酪農大動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-34 酪農学園大学における犬の水晶体嚢内摘出術の視覚予後

○仁藤 稔久¹⁾ 伊藤 洋輔¹⁾ 佐藤 崇²⁾ 前原 誠也¹⁾

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院)

小-35 犬の緑内障症例についての眼房水の蛋白質解析および免疫組織化学的検討

○久保 明^{1),2)} 中村 晃三²⁾ 佐野 悠人²⁾ 宮庄 拓²⁾ 前原 誠也²⁾

岡本 実²⁾ 泉澤 康晴²⁾

(¹⁾ どうぶつ眼科 VECS (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

10:40~11:10

座長：掛端 健士 (かけはた動物病院)

小-36 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染による融解性潰瘍性角膜炎の犬の1例

○伊藤 洋輔¹⁾ 前原 誠也¹⁾ 佐藤 崇²⁾ 所 輝久³⁾ 山本 雅昭³⁾

泉澤 康晴¹⁾

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院 (³⁾ 山本動物病院)

小-37 術中所見から後嚢形成不全と診断したフレンチ・ブルドッグの1例

○下出 亜里咲¹⁾ 伊藤 洋輔¹⁾ 佐藤 崇²⁾ 前原 誠也¹⁾

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院)

小-38 超音波Bスキャンモードによるチワワの眼軸長、水晶体厚、および前房深度の計測値に関して

○所 輝久^{1),2)} 高橋 歩土¹⁾ 星 清貴¹⁾ 松山 好希¹⁾ 前原 誠也²⁾

斎藤 陽彦²⁾ 山本 雅昭¹⁾

(¹⁾ 山本動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

11:10~12:00

座長：松本 高太郎 (帯畜大)

小-39 両側性子宮分節性無形成から片側性子宮角捻転に至った犬の1例

○横山 望¹⁾ 中村 健介¹⁾ 木村 享史³⁾ 大田 寛²⁾ 山崎 真大²⁾

滝口 満喜²⁾

(¹⁾ 北大動物病院 (²⁾ 北大獣医内科 (³⁾ 北大人獣共通感染症リサーチセンター)

小-40 包皮および陰茎の低形成を示したXX雄の犬の1例

- 海道 磨里¹⁾ 細谷 謙次¹⁾ 永野 昌志²⁾ 棚田 敦司³⁾ 星野 有希⁴⁾
高木 哲¹⁾ 奥村 正裕¹⁾
(¹⁾ 北大獣医外科 ²⁾ 北大獣医繁殖 ³⁾ ぱんだ動物病院 ⁴⁾ 北大動物病院)

小-41 最近経験した小動物寄生虫感染症例

- 福浦 勝城¹⁾ 末永 八穂子¹⁾ 駒谷 充彦¹⁾ 栗原 道子¹⁾ 山田 清太郎¹⁾
飯野 亮太²⁾ 青木 祐子³⁾ 賀川 由美子³⁾ 中山 正成⁴⁾ 山本 博起⁵⁾
那須野 豊彦⁶⁾ 小幡 祐路⁷⁾ 福本 真一郎¹⁾
(¹⁾ 酪農大獣医 ²⁾ いいのペットクリニック ³⁾ ノースラボ
⁴⁾ 中山獣医科病院 ⁵⁾ 山本動物病院 ⁶⁾ だて動物病院
⁷⁾ アンペットクリニック)

小-42 国内で北上する犬と猫の東洋眼虫症発生状況

- 末永 八穂子¹⁾ 山田 清太郎¹⁾ 福浦 勝城¹⁾ 駒谷 充彦¹⁾ 中山 正成²⁾
鈴木 新³⁾ 田口 正行⁴⁾ 佐藤 修一⁵⁾ 今 麻里奈⁶⁾ 山田 有人⁷⁾
福本 真一郎¹⁾
(¹⁾ 酪農大獣医 ²⁾ 中山獣医科病院 ³⁾ あらた動物病院
⁴⁾ 田口動物病院 ⁵⁾ 村山共同家畜診療所
⁶⁾ 埼玉県衛生研究所 ⁷⁾ 山田どうぶつ病院)

2日目(9月7日) 第1会場 (C1号館301)

9:00~9:30

座長: 山崎 真大 (北大)

小-14 頭部皮膚炎を伴う好酸球増多症の猫の1例

- 犬飼久生¹⁾ 磯村洋²⁾
(¹⁾ 猫の病院北見 ²⁾ パソロジカルアシスト)

小-15 前頭洞に骨上皮嚢胞が生じた犬の1症例

- 遠藤 能史¹⁾ 斎藤 勝³⁾ 杉浦 岳⁴⁾ 平山 和子²⁾ 谷山 弘行²⁾
廉澤 剛¹⁾
(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農大獣医病理 ³⁾ カツラ犬猫
病院 ⁴⁾ すぎうらペットクリニック)

小-16 セファランチンの併用療法により、ステロイドが奏効した免疫介在性貧血の犬の2例

- 石井 俊治¹⁾ 大山 紀彦¹⁾ 福本 真也²⁾ 華園 究²⁾ 高野 裕史²⁾
打出 毅²⁾ (¹⁾ 酪農大動物病院 ²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

9:30~10:00

座長: 中村 健介 (北大)

小-17 健常犬におけるNT-proBNPの日内変動について

- 内田 英二¹⁾ 木下 瞳²⁾ 華園 究²⁾ 打出 毅²⁾
(¹⁾ 酪農大獣医保健看護 ²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-18 二次性肺高血圧症例犬の血中 Endothelin および NT-proBNP 濃度の推移を追った1例

○大山 紀彦¹⁾ 石井 俊治¹⁾ 華園 究²⁾ 福本 真也²⁾ 吉田 智彦²⁾
打出 毅²⁾ (1) 酪農大動物病院 2) 酪農大伴侶動物医療)

小-19 肺動脈狭窄症に起因すると考えられた内因性類脂質肺炎を認めたイヌの1例

○河村 芳朗¹⁾ 鈴木 隆幸¹⁾ 花園 究²⁾ 松田 一哉¹⁾ 中出 哲也²⁾
谷山 弘行¹⁾ 岡本 実¹⁾

(1) 酪農大獣医病理 2) 酪農大伴侶動物医療)

10:00~10:30

座長：前谷 茂樹 (まえたに動物病院)

小-20 低容量のピモベンダンが有効であった犬の特発性心膜液貯留の1例

○大池 三千男 (おおいけ動物病院)

小-21 腱索断裂を伴う僧帽弁閉鎖不全症の小型犬に僧帽弁形成術を施行した一例

○沢田 保^{1),8)} 前谷 茂樹²⁾ 玉井 聡³⁾ 岸原 圭一郎⁴⁾ 伊丹 貴晴⁵⁾
今道 昭一⁶⁾ 中村 健介⁷⁾ 水野 祐⁸⁾ 原田 佳代子⁸⁾ 内田 周平⁸⁾
上地 正実⁸⁾

(1) 北の森どうぶつ病院 2) まえたに動物病院 3) 玉井動物病院
4) ふじのペットクリニック 5) 酪農大伴侶動物医療
6) きたのさと動物病院 7) 北大動物病院 8) 日大獣医内科)

小-22 肝静脈血流波形解析による右心不全の重症度評価

○中村 健介¹⁾ 大菅 辰幸²⁾ 森下 啓太郎¹⁾ 大田 寛²⁾ 山崎 真大²⁾
滝口 満喜²⁾ (1) 北大動物病院 2) 北大獣医内科)

10:30~11:00

座長：打出 毅 (酪農大)

小-23 下垂体性副腎皮質機能亢進症とクロム親和性細胞腫を併発した犬の1例

○金澤 智則¹⁾ 中村 健介¹⁾ 山崎 真大²⁾ 大田 寛²⁾ 高木 哲³⁾
滝口 満喜²⁾

(1) 北大動物病院 2) 北大獣医内科 3) 北大獣医外科)

小-24 下垂体性副腎皮質機能亢進症と中枢性尿崩症を併発し、放射線治療を行った下垂体腫瘍の犬の1例

○田村 悠¹⁾ 山崎 真大¹⁾ 森下 啓太郎²⁾ 中村 健介²⁾ 大田 寛¹⁾
滝口 満喜¹⁾ (1) 北大獣医内科 2) 北大動物病院)

小-25 上皮小体切除を実施した犬11症例

○星野 有希¹⁾ 高木 哲²⁾ 細谷 謙次²⁾ 奥村 正裕²⁾

(1) 北大動物病院 2) 北大獣医外科)

11:00~12:00

座長：廉澤 剛 (酪農大)

小-26 披裂軟骨背側に形成された炎症性腫瘤病変を喉頭切開により摘出した猫の一例

○岩野 公美¹⁾ 高木 哲¹⁾ 星野 有希¹⁾ 細谷 謙次¹⁾ 滝口 満喜²⁾
奥村 正裕¹⁾ (¹⁾ 北大獣医外科 ²⁾ 北大獣医内科)

小-27 鼻ポリープにより鼻出血を呈した犬の1例

○松本 高太郎¹⁾ 田川 道人¹⁾ 富張 瑞樹¹⁾ 三好 雅史¹⁾ 島田 光²⁾
合山 尚志³⁾ 古林 与志安³⁾ 宮原 和郎¹⁾
(¹⁾ 帯畜大臨床獣医 ²⁾ ひかるペットクリニック ³⁾ 帯畜大基礎獣医)

小-28 外科手術に関連して発生した犬の急性腭炎に関する回顧的検討

○足立 真実¹⁾ 高木 哲¹⁾ 星野 有希²⁾ 細谷 謙次¹⁾ 奥村 正裕¹⁾
(¹⁾ 北大獣医外科 ²⁾ 北大動物病院)

小-29 アメロイド・コンストラクター設置術を行った門脈体循環シャントの犬と猫の25例

○尾形 暁男¹⁾ 中出 哲也^{1,2)} 三好 健二郎^{1,2)} 前谷 茂樹¹⁾
森本 陽美記²⁾ 筈見 友洋²⁾
(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農大動物病院)

2日目 (9月7日) 第2会場 (C1号館302)

9:00~9:40

座長：奥村 正裕 (北大)

小-43 犬の膝蓋骨内方脱臼に対する脛骨粗面外方転位術の検討

○楠田 紘平¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 佐々木 聖史⁴⁾ 中川 史洋⁵⁾
泉澤 康晴^{1), 2), 3)}
(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農大大学院 ³⁾ 酪農大動物病院
⁴⁾ どうぶつ園通りの動物病院 ⁵⁾ なかがわペットクリニック)

小-44 ロッキングプレートを用いてTPO (脛骨高平部水平化骨切り術) を行った犬37肢の検討

○名倉 理恵¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 佐々木 聖史³⁾ 中川 史洋⁴⁾
泉澤 康晴^{1), 2), 5)}
(¹⁾ 酪農大動物病院 ²⁾ 酪農大大学院 ³⁾ どうぶつ園通りの動物病院
⁴⁾ 中川動物病院 ⁵⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-45 LCP (Locking Compression Plate) を適応した15骨折症例の検討

○石川 隆次¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 山口 泰枝⁴⁾
泉澤 康晴^{1), 2), 3)}
(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 ²⁾ 酪農大大学院 ³⁾ 酪農大動物病院
⁴⁾ 中の道動物病院)

小-46 前十字靭帯断裂犬における脛骨近位形状について

○山崎 遥香¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 泉澤 康晴^{1),2),3)}

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大大学院 (³⁾ 酪農大動物病院)

9 : 40~10 : 10

座長 : 桂 太郎 (カツラ犬猫病院)

小-47 上腕骨遠位 Salter-HarrisIV型骨折の犬3症例

○矢幅 達也¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 九島 聡一⁴⁾

泉澤 康晴^{1),2),3)}

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大大学院 (³⁾ 酪農大動物病院
⁴⁾ 九島動物病院)

小-48 橈尺骨骨折に対するプレート法の適用とその影響

○新垣 啓¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 佐々木 聖史⁴⁾ 泉澤 康晴¹⁻³⁾

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院 (³⁾ 酪農大大学院
⁴⁾ どうぶつ園通りの動物病院)

小-49 両肩甲上腕関節の脱臼を呈したミニブタの1症例

○竹村 崇宏¹⁾ 伊藤 真之²⁾ 名倉 理恵³⁾ 泉澤 康晴^{1),2),3)}

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大大学院 (³⁾ 酪農大動物病院)

10 : 10~10 : 30

座長 : 泉澤 康晴 (酪農大)

小-50 プードルの橈骨尺骨骨折癒合不全に対して同種骨移植をおこない骨癒合まで導くことのできた1治験例

○樋口 雅仁 樋口 飛鳥 (大分県動物整形外科病院)

小-51 手根関節部分固定を行った第二手根骨骨折の猫一症例

○永田 理紗¹⁾ 柘植 勇祐²⁾ 玉井 聡³⁾ 細谷 謙次¹⁾ 星野 有希¹⁾

高木 哲¹⁾ 奥村 正裕¹⁾

(¹⁾ 北大獣医外科 (²⁾ 北大動物病院 (³⁾ 玉井動物病院)

10 : 30~11 : 00

座長 : 宮原 和郎 (帯畜大)

小-52 胸腰部椎間板ヘルニアに対するコハク酸メチルプレドニゾロンの投与に関する検討

○馬縹 智之¹⁾ 名倉 理恵²⁾ 伊藤 真之³⁾ 上野 博史^{1),2),3)}

泉澤 康晴^{1),2),3)}

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院 (³⁾ 酪農大大学院)

小-53 脊髄疾患罹患犬の病変部位における神経学的検査と画像検査の差異についての検討

○藤崎 雄介¹⁾ 上野 博史^{1),2),3)} 伊藤 真之³⁾ 名倉 理恵²⁾ 福井 翔³⁾

泉澤 康晴^{1),2),3)}

(¹⁾ 酪農大伴侶動物医療 (²⁾ 酪農大動物病院 (³⁾ 酪農大大学院)

小-54 VP シャント設置術を行った犬の臨床経過 20 例について

○千葉 依里 松野 正行 明石 なつき 中尾 幸恵 古賀 智之

柄本 浩一 (えのもと動物病院)

11:00~12:00

座長: 森下 啓太郎 (北大)

小-55 唾液腺造影検査が有用であった唾液腺関連疾患の犬5例

○山崎 裕毅¹⁾ 細谷 謙次¹⁾ 柘植 勇祐²⁾ 星野 有希²⁾ 高木 哲¹⁾
奥村 正裕¹⁾ (1)北大獣医外科 (2)北大動物病院)

小-56 犬の肺腺癌18例および肺原発性組織球性肉腫9例のCT画像所見の比較

○那須 香菜子¹⁾ 三好 健二郎^{1,2)} 森本 陽美記²⁾ 筈見 友洋²⁾
前谷 茂樹¹⁾ 平山 和子³⁾ 谷山 弘行³⁾ 遠藤 能史^{1,2)} 廉澤 剛^{1,2)}
中出 哲也^{1,2)}

(1)酪農大伴侶動物医療 (2)酪農大動物病院 (3)酪農大獣医病理)

小-57 造影CT検査により犬のインスリノーマの術前評価を行った犬の2症例

○筈見 友洋¹⁾ 森本 陽美記¹⁾ 三好 健二郎^{1,2)} 前谷 茂樹²⁾
遠藤 能史^{1,2)} 廉澤 剛^{1,2)} 中川 史洋³⁾ 松田 一哉⁴⁾ 中出 哲也^{1,2)}

(1)酪農大動物病院 (2)酪農大伴侶動物医療 (3)なかがわアニマルクリニック札幌 (4)酪農大獣医病理)

小-58 猫の頭部扁平上皮癌28症例のCT所見と病理診断との比較検討

○平 麻衣子¹⁾ 三好 健二郎^{1,2)} 森本 陽美記²⁾ 筈見 友洋²⁾ 前谷 茂樹¹⁾
平山 和子³⁾ 谷山 弘行³⁾ 遠藤 能史^{1,2)} 廉澤 剛^{1,2)}
中出 哲也^{1,2)}

(1)酪農大伴侶動物医療 (2)酪農大動物病院 (3)酪農大獣医病理)

13:00~13:20

座長: 大田 寛 (北大)

小-59 中耳炎による顔面・交感神経障害に、鼓膜切開術が著効を呈した猫の1症例

○山手 健輔¹⁾ 伊藤 由香里¹⁾ 富樫 ひとみ¹⁾ 長櫓 司¹⁾ 弘川 治喜¹⁾
(1)これの木動物病院)

小-60 痙攣発作を主訴に来院したイヌ104症例における神経学的検査・MRI検査に関する回顧的研究

○森本 陽美記¹⁾ 筈見 友洋¹⁾ 三好 健二郎^{1,2)} 前谷 茂樹²⁾
中出 哲也^{1,2)} (1)酪農大動物病院 (2)酪農大伴侶動物医療)

13:20~14:00

座長: 五十嵐 律代 (釧路動物病院)

小-61 麻酔後の全脳虚血が疑われた2症例のMRI所見

○大田 寛¹⁾ 森下 啓太郎²⁾ 中村 健介²⁾ 山崎 真大¹⁾ 滝口 満喜¹⁾
(1)北大獣医内科 (2)北大動物病院)

小-62 犬臨床例における麻酔前投薬としてのロベナコキシブの効果

○風間 善道¹⁾ 福井 大祐¹⁾ 伊丹 貴晴²⁾ 石塚 友人²⁾ 田村 純²⁾

福井 翔²⁾ 三好 健二郎²⁾ 山下 和人²⁾

(¹⁾ 酪農大動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)

小-63 犬臨床例におけるマロピタントの麻酔前投薬としての効果

○福井 大祐¹⁾ 風間 善道¹⁾ 福井 翔²⁾ 伊丹 貴晴²⁾ 石塚 友人²⁾

田村 純²⁾ 三好 健二郎²⁾ 山下 和人²⁾

(¹⁾ 酪農大動物病院 (²⁾ 酪農大伴侶動物医療)